

洛陽

らくようのはる

平成30年度
大槻能楽堂自主公演能
能の魅力を探るシリーズ



4.28(土)

能 西行桜 素 囃 子

梅若 実 進

お話 中西 進

の

春

5.19(土)

狂言 花 折 善竹 隆司

能 百 萬 法 樂 之 舞

浅井 文義

お話 梅内 美華子

全国の能の舞台となった史跡を巡る
平成30年度の大槻能楽堂自主公演能。
4・5・6月公演は、春～初夏の京都を舞台とした三公演。



6.16(土)

能 大原御幸

梅若 万三郎 / 塩津 哲生

お話 馬場 あき子

百萬 大原御幸

西行桜

初めてご覧になる方にもわかりやすい解説文(英文解説)もご用意しています

無形文化遺産
NOH KYOGEN
能 楽

大槻能楽堂

〒540-0005 大阪市中央区上町A-7

TEL.06-6761-8055 <http://www.noh-kyogen.com>

◎主催:公益財団法人大槻能楽堂 ◎後援:大阪府 / 大阪市教育委員会 / 公益財団法人関西・大阪21世紀協会



洛陽の春

第647回 4月28日(土) 14:00開演 13:00開場

お話 京洛の花と西行 中西 進

休憩20分

能 西行桜 素囃子 さいぎょうざくら しらばやし

シテ	老桜の精	梅若 実
ワキ	西行上人	福王 茂十郎
ワキツレ	花見人	福王 和幸
ワキツレ	花見人	福王 知登
ワキツレ	花見人	喜多 雅人
ワキツレ	花見人	中村 宜成
アイ	能力	善竹 隆平

笛		赤井 啓三
小鼓		林 吉兵衛
大鼓		河村 大
太鼓		前川 光長

後見		赤松 禎友
		武富 康之

地謡		大槻 文藏
		上田 拓司
		山崎 正道
		浦田 保親
		寺澤 幸祐
		大槻 裕一
		笠田 祐樹
		浦田 親良

都・西山に隠棲している西行法師の庵室は、今が花の盛り。西行は、今年はここでの花見を禁じると触れさせるが、それでも噂を聞きつけた人々が大勢訪れる。仕方なく受け入れたものの、内心はうんざりしている西行は、せっかくの閑居が妨げられるのは桜の罪だと、つい歌にして愚痴をこぼす。すると、その夜、老木の朽ちた空洞から白髪の桜の精が現れて、西行の歌の真意を問うてきた――。

四代梅若実(女祥改メ/芸術院会員・人間国宝)のシテ、大槻文藏(人間国宝)の地頭という当代最高峰の配役で極上の美意識、閑雅で奥深い「老体の幽玄」の境地を味わいたい。

入場料金のご案内 ※入場券は各公演の2ヶ月前の同日付から発売

自由席	●前売：一般 5,400円・学生 2,700円
座席指定可	●当日：一般 5,900円・学生 3,100円

ワンコインでマイシート 500円
追加料金で自由席を座席指定にアップグレード

U-25 25歳以下(U-25) 当日立ち見券 800円

※自由席券・当日券でご入場の場合は、立ち見のご案内となる場合がございます。ご了承ください。※やむを得ぬ事情により、曲目・出演者・日程等の変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

入場券発売所

■大槻能楽堂事務局・大槻能楽堂ホームページ

●ローソンチケット Lコード：53874

TEL 0570-084-005 URL l-tike.com

●チケットぴあ ぴあコード：561-119

TEL 0570-02-9999 URL t.pia.jp

交通 ○地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」下車、⑩号出口を出て南へ約300m。(⑪号出口にエレベーター有り)
又は谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」下車、⑦号出口を出て北へ約350m。(⑦号出口にエレベーター有り)
○市バス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ。
※大阪駅から62号系統「住吉車庫前」行乗車。 ※「あべの橋」(天王寺)から62号系統「大阪駅前」行乗車。

第649回 5月19日(土) 14:00開演 13:00開場

お話 大念仏会の女曲舞師 梅内 美華子

休憩10分

狂言 花折 はなおり

シテ	新発意	善竹 隆司
アド	住持	善竹 忠一郎
立衆	花見客	善竹 隆平
立衆	花見客	山口 耕道
立衆	花見客	上吉川 徹
立衆	花見客	小西川 玲央
立衆	花見客	茂山 忠三郎
後見		上西 良介

住持から花見を禁じるように命じられた新発意(しんぼち=出家したばかりの僧)は、花見の衆が庭垣の外で始めた酒宴がうらやましくて、庭へ招き入れてしまう――。

善竹隆司のシテに、今年、二世彌五郎を襲名する父・忠一郎、弟・隆平と、昨年、五世を襲名した茂山忠三郎らが賑々しく共演。桜にちなんだ様々な能のイメージが散りばめられており、特にパロディの元である能《西行桜》(4月28日公演)を知れば、より趣向を楽しめるだろう。

休憩20分

能 百萬 法楽之舞 ひゃくまん ほうらくのまい

シテ	狂女百萬	浅井 文義
子方	百萬ノ子	長山 芽生
ワキ	里人	福王 和幸
ワキツレ		喜多 雅人
アイ	釈迦堂門前ノ者	善竹 隆平

笛		杉 市和
小鼓		横山 晴明
大鼓		山本 哲也
太鼓		三島 元太郎

後見		赤松 禎友
		上野 雄三

地謡		大槻 文藏
		齊藤 博通
		山本 正人
		武富 康之
		長山 耕三
		齊藤 信輔
		大槻 裕一

春の嵯峨・清涼寺、大念仏の日。吉野の男が、奈良の西大寺のあたりで拾った幼子を連れて訪れる。貴賤群集する境内では、女物狂(おんなものぐるい)が面白く念仏の音頭を取ると評判をとっていた。百萬と名乗るその女は、夫には死別し、行方知れずの我が子に巡り会うために、こうして人目に顔をさらして歩いていたのだ――。

伝説の曲舞の名手・百萬と、大念仏を創始した円覚上人の物語が重なり合う。鏡仙会(東京)の浅井文義が、大槻文藏(人間国宝)の地頭とともに、春の温かな陽ざしの中で繰り広げられる芸尽くしと母子再会の奇蹟を紡ぎ出す。

第650回 6月16日(土) 14:00開演 13:00開場

お話 六道を見た女院 馬場 あき子

休憩20分

能 大原御幸 おはらごこう

シテ	建礼門院	梅若 万三郎
ツレ	法皇	塩津 哲生
ツレ	阿波ノ内侍	上田 拓司
ツレ	大納言局	青木 健一
ワキ	萬里小路中納言	福王 茂十郎
ワキツレ	大臣	福王 知登
ワキツレ	輿舁	広谷 和夫
ワキツレ	輿舁	喜多 雅人
間狂言	供人	善竹 忠一郎

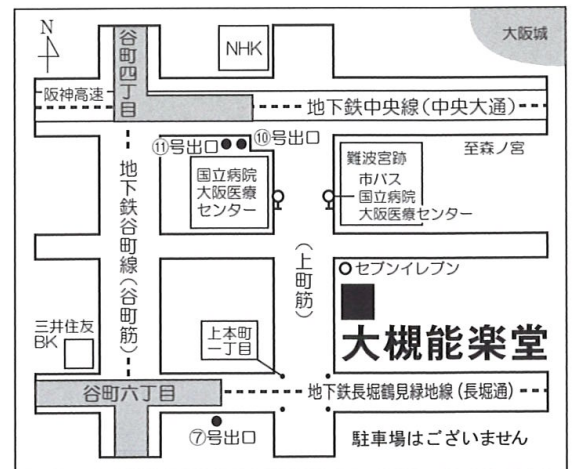
笛		赤井 啓三
小鼓		久田 舜一郎
大鼓		谷口 正壽

後見		大槻 文藏
		赤松 禎友

地謡		浅井 文義
		多久島 利之
		山本 博通
		上野 雄三
		寺澤 幸祐
		武富 康之
		齊藤 信輔
		大槻 裕一

建礼門院徳子は、平家が滅亡した壇ノ浦の戦いで、我が子・安徳天皇と母・二位尼の後を追って入水するも助けあげられ、心ならずも命を永らえてしまった。今は落飾して、洛北の山間、この大原の里の寂光院に隠棲し、大納言局や阿波ノ内侍とともに、安徳天皇や一門の菩提を弔う静かな日々を送っていた。そんなある日、平家を滅ぼした張本人ともいえる後白河法皇が、突然、寂光院に御幸する――。観世流・梅若万三郎の女院(建礼門院)に、法皇には喜多流から塩津哲生を迎える、両流を代表する名手の初顔合わせによる壮大な歴史絵巻『平家物語』の最終章である。

文・石淵文恵



※本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は、著作権・肖像権に触れますのでご遠慮いただきますようお願いいたします。

Unauthorized recording or photography of the performances is prohibited and a violation of copyright. (Thank you for understanding and we hope you will have a good time.)